横浜市立市ケ尾中学校　学校だより
2026 年度 10 月号 Vol.181

市ケ尾中Times

2026/10/23

＜学校教育目標＞

自立貢献

発行者：校長　濵部　剛

10 月も半ばを過ぎ、朝夕は秋らしい涼しさを感じるようになりました。一方で、日中は蒸し暑い日も続いています。季節の変わり目ですので、体調管理に気を付けながら毎日を過ごしてほしいと思います。

さて、秋といえば読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋です。皆さんはどのような秋を過ごしていますか。ぜひ、自分なりの目標をもち、充実した時間をつくってください。

10 月 13 日に後期がスタートしました。後期の始まりにあたり、前期を振り返ってみましょう。自分ができるようになったことは何か、仲間と一緒に成し遂げたことは何か。そして後期には何を一つ前に進めたいのか。前期の成長を自信に変え、新たな目標に向かって挑戦してほしいと思います。

今、校内では 10 月 28 日の合唱コンクールに向けて、さまざまな場所から歌声が聞こえてきます。学級の仲間と力を合わせ、一つの合唱を創り上げる過程そのものが大切な学びです。後期、皆さんがどのような新しい市ケ尾中学校をつくってくれるのか、そして合唱コンクールでどのようなハーモニーを響かせてくれるのか、今からとても楽しみにしています。実り多い後期となることを願っています。

地域の魅力にふれ、地域とつながる「わくわく交流会」

9 月 29 日（金）、地域の皆様や企業・事業所の方々のご協力のもと、「わくわく交流会」を開催しました。この交流会は、さまざまな体験や学習を通して地域の方々と交流し、地域の魅力や特色を知ることを目的とした行事です。

当日は悪天候のため、グラウンドで予定していた活動の一部を体育館で実施するなど内容を工夫しながら行いましたが、生徒たちは意欲的に活動に取り組んでいました。講座では、「陶芸で地域の人と交流しよう」や「フットサルで地域の人と交流しよう」、「日本舞踊ってむずかしいの？」など、地域の方々との交流を楽しむ活動が行われました。また、「消防士の仕事」「ケーブルテレビの仕事」「トリマーの仕事」では、地域で働く方々から仕事内容や仕事への思いを直接聞くことができました。さらに、「鶴見川の環境を考えよう」や「生涯スポーツについて考えよう」、「保険と金融について知ろう」など、地域や社会とのつながりを学ぶ講座も開かれました。生徒たちは講師の方々との対話や体験活動を通して、多くの学びや発見を得ることができました。また、地域にはさまざまな仕事や活動があることを知り、自分たちを支えてくださっている地域の方々の存在を改めて感じる機会となりました。

ご協力いただいた地域の皆様、企業・事業所の皆様、そして PTA の皆様に心より感謝申し上げます。これからも地域とのつながりを大切にしながら、生徒たちが地域を知り、地域の一員として成長できる取組を進めてまいります。









＜市ケ尾中学校ホームページ＞

※各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

URL: https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao/index.cfm

市ケ尾中生も大活躍！　笑顔あふれる荏田西ふるさと祭り





10 月 10 日（土）、荏田西小学校において令和８年荏田西ふるさと祭りが開催され、多くの地域の皆様でにぎわいました。市ケ尾中学校も参加し、生徒たちは冷凍ゼリーの販売などを通して地域との交流を深めました。

当日は気温が高かったこともあり、冷凍ゼリーは大変好評で、多くの方に購入していただきました。生徒たちは明るいあいさつと丁寧な対応を心掛けながら活動し、地域の方々との温かなふれあいを楽しんでいました。また、本校が継続して取り組んでいるプラスチックごみ削減活動の一環として、「使い捨てコンタクトレンズのケース」「使用済み歯ブラシ」「ペットボトルキャップ」の回収も実施しました。多くの皆様にご協力いただき、環境保全への関心を広げる機会となりました。

さらに、吹奏楽部による演奏も披露されました。心温まる音色が会場を包み込み、大きな拍手が送られるなど、お祭りを大いに盛り上げました。

ふるさと祭りを通して、生徒たちは地域の温かさや支えを改めて実感することができました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、さまざまな活動に取り組んでいきます。

学校を動かす、その一歩　～第 42 代生徒会、始動～

10 月 6 日（火）、第 42 代生徒会本部役員を選出するための立会演説会および投票が行われました。立候補者の皆さんは、「こんな市ケ尾中学校にしたい」という思いをそれぞれの言葉で力強く語り、学校の未来について真剣に考える姿がとても印象的でした。

演説会後には投票を実施しました。投票では、青葉区選挙管理委員会からお借りした実際の選挙で使用されている記載台と投票箱を活用し、生徒一人ひとりが大切な一票を投じました。実際の選挙に近い形で行うことで、社会の一員としての意識を高める貴重な機会にもなりました。さらに、10 月 13 日（月）には生徒会本部役員および各委員の認証式を開催しました。認証を受けた代表生徒たちは、これからの学校づくりに向けた決意を新たにし、責任と意欲に満ちた表情を見せていました。





生徒会活動は、一人ひとりの声や思いを学校生活につなげていく大切な活動です。新たなリーダーたちを中心に、生徒全員でよりよい市ケ尾中学校をつくっていくことを期待しています。これから市ケ尾中学校がどのように発展していくのか、とても楽しみです。

「後期認証式～所信表明」でのことばより

- 生徒の声を尊重し、その声を学校全体へ広めていくことに力を入れたいです。快適で活気のある学校へ導いていきます。
- 学級討議を活用して活発な意見交換を行いたいです。学校を変えるきっかけは、皆さんの声にあります。
- 市中生一人ひとりの意見に耳を傾け、生徒会を遠い存在ではなく身近な存在にし、「学校がもっとこうだったらいいのにな」という声を形にして、学校をより良くしたいです。
- 自分の考えを自由に表現でき、新しいことにも挑戦できる。そんな自由闊達（じゆうかったつ）で、誰もが主役になれる市中を皆さんと一緒につくっていきたいです。
- 学年を超えた交流を深めるとともに、生徒の声をより学校生活に反映できる仕組みをつくりたいです。
- 市中生の思いや情熱であふれる学校で、最高の学校生活を送る。それこそが、生徒が「学校に行きたい」と思える瞬間だと考えています。生徒一人ひとりが安心して学校に通い、最高の学校生活を送れる学校をつくっていきたいです。
- 全校のみんなが意見を出し合える、笑顔あふれる学校づくりに貢献したいです。